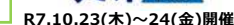
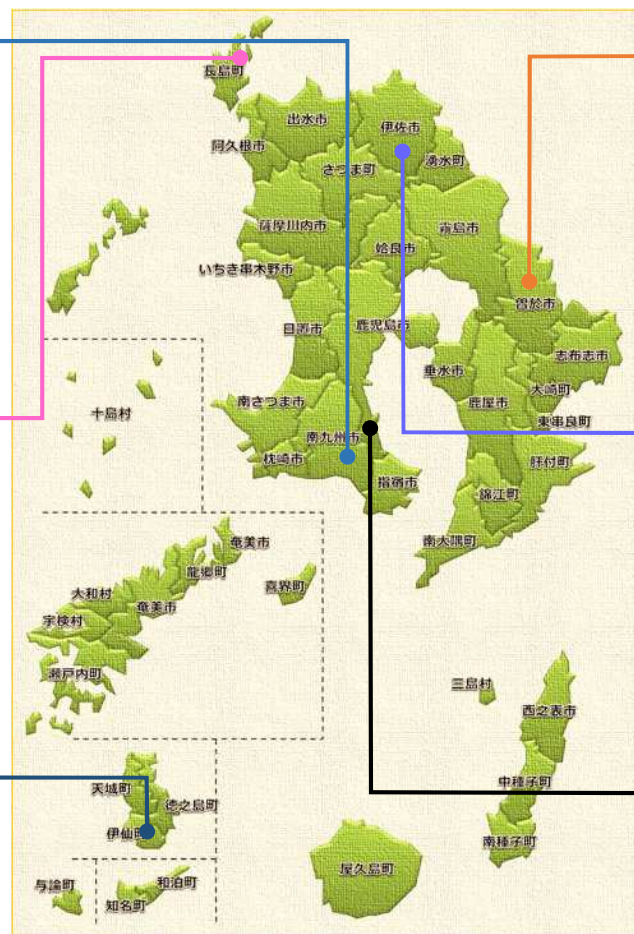


ごしまの農業農村



令和7年5月
鹿 児 島 県



大規模畑地かんがいを契機とした営農の近代化

【鹿児島県指宿市・南九州市・枕崎市】

食料安全
保障

保全管理

国土
強靱化

グリーン化

【工夫のポイント】

- ほ場整備や農業用水の安定的な供給による営農の効率化や高収益作物への転換を実現
- 需要に応じた茶生産の拡大
- 規模拡大や高収益作物転換等による農業産出額の増加

【取組地域の概要】

○ 位置

鹿児島県指宿市・南九州市・枕崎市



○ 主要作物

茶・甘藷・野菜・花類ほか

○ 主な支援施策

- ・ 国営かんがい排水事業 (S45～S59)
- ・ 県営畑地帯総合土地改良事業 (S47～H 6)
- ・ 団体営事業による末端散水施設整備 (S52～S62)
- ・ 県営畑地帯総合整備事業 (H25～R 8)
- ・ 施設管理体制整備事業 (H12～)

基盤

ほ場整備や農業用水の安定的な供給による営農の効率化や高収益作物への転換

- 保水性が乏しい火山灰性土壌地帯で甘藷など限られた作物のみの営農を余儀なくされていたが、ほ場整備や農業用水の安定的な供給により、営農の効率化や高収益作物への転換が実現



特殊土壌：コラ



地域の代表作物：甘藷

基盤
整備
(S45～)



整然と区画整理された茶畑



収益性の高い営農への転換

生産現場

畑地かんがいを使った効率的な水利用やスマート農業技術の導入・実証

- 畑地かんがいやスマート農業技術の導入・実証による労力削減



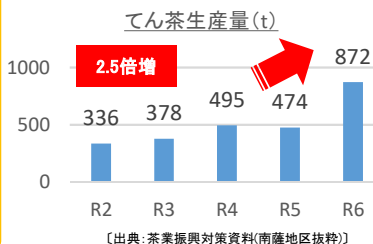
スプリンクラーによる畑地への散水



GPS車速連動型肥料散布機

国内外の需要に応じた茶生産の拡大

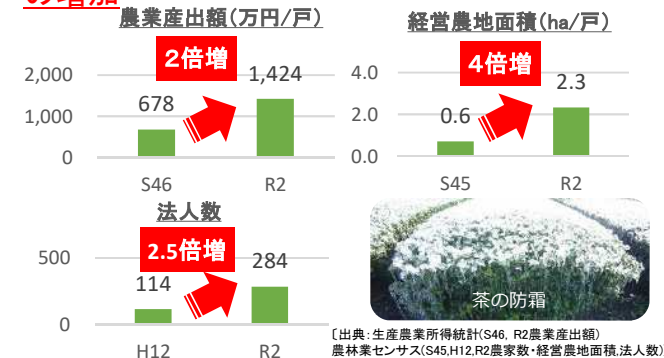
- 国内外で需要が拡大する抹茶の原料となるてん茶の生産技術向上や栽培面積の拡大



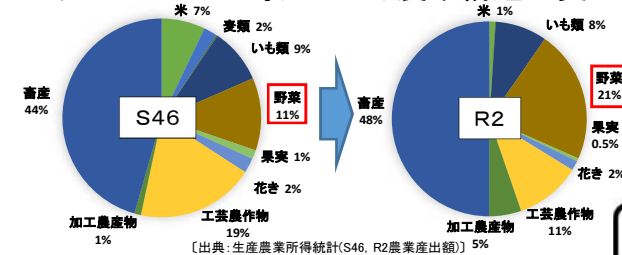
抹茶

規模拡大や高収益作物転換等による農業産出額の増加

- 農家一戸当たり農業産出額、経営農地面積の増加



- 畑地かんがい導入による農業構造の変化



区画整理と畑かんを契機とした規模拡大と農地流動化の進展

【鹿児島県曾於市】

食料安全
保障

保安全管理

国土
強靱化

グリーン化

【工夫のポイント】

- 不整形なほ場や道路・用排水路が未整備の団地を整備することにより、**農作業の効率化と規模拡大が進行**
- 基盤整備を契機に**農地中間管理事業を活用した農地流動化が大きく進展**
- 畑かんにより安定した水の供給が可能となり、**経営規模拡大や営農の近代化が促進**

【取組地域の概要】

- 位置
鹿児島県曾於市



- 主要作物
・さつまいも、茶、大根、白菜、ごぼう
- 主な支援施策
・国営かんがい排水事業(H8～H26)
・畑かん推進モデルほ場設置事業(H9～H15)
・畑地帯総合整備事業(H20～R9)

基盤

【整備前】

ほ場が不整形で道路や水路も未整備のため、農作業が非効率



ため池や上水道から給水タンク等で水を運搬し、散水に多大な時間と労力を要する

基盤整備

(H20～R9)

区画整理により作業効率の高い営農が行え、**ダム**の安定した水源により、**畑かんを活用した計画的で近代的な営農が可能となり、規模拡大が進行**



生産現場

畑かん導入を契機とした高収益作物の増加

- 散水実演会や畑かんマイスターによる啓発活動により、**高収益作物への転換が進展**



地域の取組

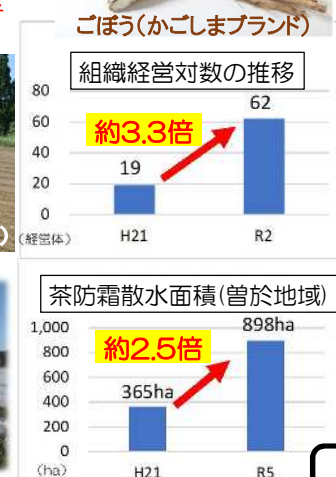
中間管理事業を活用した農地集約化の推進

- 基盤整備を契機とした**農地中間管理事業への取組推進の結果、農地流動化が大きく進展**



基盤整備や畑かんによる規模拡大・農業の近代化

- 基盤整備により**農業法人など組織経営体が増加**し、白菜、大根等の**野菜栽培の大規模化が進行**
- スマート農機を導入し、近代的営農に取り組む経営体が現れ、ごぼうなどかごしまブランド作物の栽培や、**茶の防霜散水面積が増加**



農地開発の実施による経営規模拡大と架橋による流通経路の確保

【鹿児島県長島町】

省力化

スマート農業

グリーン

国土強靱化

【工夫のポイント】

- 農地開発による農業者の**大規模経営への転換**
- 伊唐大橋建設による**農産物流通経路の確保**
- 伊唐島への唯一の陸上交通経路である伊唐大橋の**長寿命化**
- 大規模経営化や作物のブランド化、流通経路の確保等により**生産量及び農家所得が向上**

【取組地域の概要】

- 位置 いづみ ながしま
鹿児島県出水郡長島町



- 主要作物
ばれいしょ、甘しょ 等
- 主な支援施策
 - ・県営農地開発事業(S61～H9)
 - ・農免農道整備事業(S63～H8)
 - ・農道保全対策事業(H21～H24)
 - ・農村地域防災減災事業(H27～R4)
 - ・農地整備事業(通作・保全)(R4～R9)

基盤

【整備前】

生産基盤整備の遅れ、人口流出による高齢化、**地理的、社会的な悪条件**が重なり、農業生産性は極めて低い状況

農地開発導入前の伊唐島



架橋前のフェリー利用状況



基盤整備

(S61年～H9年)

農地開発による農業経営規模拡大と架橋による流通経路の確保

- 県営事業を活用して、**農地造成(81.0ha)**、**畑地かんがい施設整備(57.2ha)**及び**農道整備(橋梁675m)**を実施
- フェリーに頼っていた流通経路が、**伊唐大橋の開通**により、終日出荷及び時間短縮が図られ、経費が大幅に削減

農地開発導入後の伊唐島



本土と伊唐島を結ぶ伊唐大橋



施設管理

将来を見据えた長寿命化対策

- 伊唐大橋は、建設から一定期間が経過したことにより施設の劣化や損傷が発生していたため、**令和7年度から主塔などの本格的な橋梁補修工事**を開始
- 農業用施設は、担い手農家の**経営規模拡大を見据えた再編や更新事業**を実施
- 引き続き、**施設の長寿命化**のため、**定期的な機能診断**を基に補修工事を適切に実施し、**戦略的な保安全管理**を推進

加工・流通

ブランド化による高収益農業の実現

- 平成9年に「**長島地区赤土ばれいしょ**」として**かごしまブランド産地に指定**され、鹿児島農林水産物認証も取得



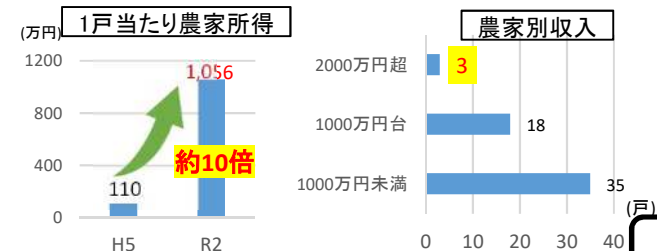
経営規模拡大による生産量の増加

- 耕地面積の増加や畑地かんがい整備、生産流通の利便性向上により、**農業経営規模が拡大**し、その結果、**ばれいしょの生産量が整備前の約3倍に増加**



農家所得の大幅な増加

- 生産量の増加やブランド化により、1戸当たりの**農家所得は、整備前の約10倍**になり、令和2年には**農業収入が2千万円を超える農家が誕生**



【対策のポイント】

- 下流に農地や住宅があり、堤体上部の市道洪水吐の断面不足や堤体からの漏水が確認され、堤体決壊により甚大な被害が発生する恐れ
- このため、**堤体法面の改修補強や洪水吐の流下能力向上**など、ため池を全面的に整備
- 整備により**災害の未然防止、農業用水源の機能を回復**

【取組地域の概要】

- 位置 いさ
鹿児島県伊佐市



- 主要作物
水稻
- 主な支援施策
・農村地域防災減災事業(R2～R4)

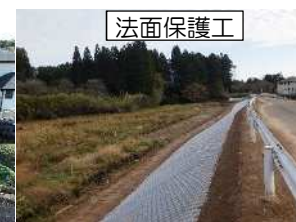
【整備前】

- 洪水吐の老朽化が激しく流末水路も断面不足
- 堤体からの漏水があり堤体法面の浸食が著しい状況



ため池の改修・補強工事

- **洪水吐の断面拡張と共に流末水路も拡張**しつつ跳水等による浸食防止を実施
- **ブロックマット施工**により堤体法面浸食を防止

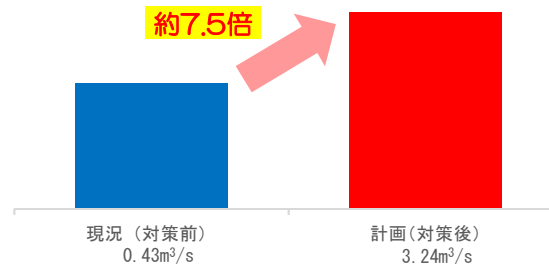


ため池整備
(R2～R4)

堤体の決壊防止及び水源としての機能回復

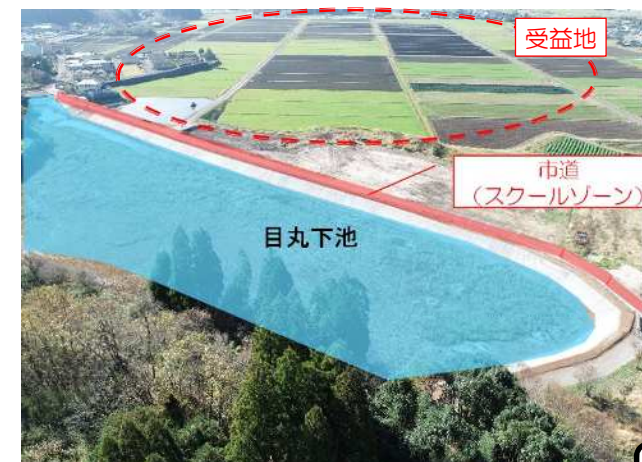
流下能力の大幅な向上

約7.5倍



	想定被害額	想定湛水面積
改修前	1億3,500万円	31.7ha
改修後	被害なし	被害なし

- 法面等の改修補強により**安定した農業用水源の機能を回復**
- 通学路である**堤体上部の市道等への災害を未然に防止し、地域住民の安全を確保**



基盤

対策の効果

畑かん利用による主要作物の生産安定と高収益作物の計画的栽培の導入

【鹿児島県大島郡伊仙町】

食料安保

デジ田

団体営

女性活躍

【工夫のポイント】

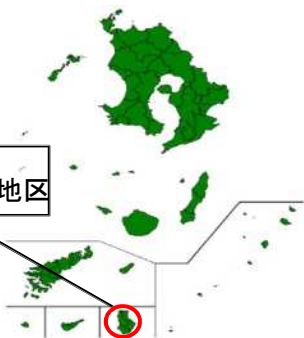
- 基盤整備により、**大型農業機械による農作業の効率化**が進み、**担い手への農地集積を促進**
- 畑かん施設整備により、**用水確保の省力化**とともに、**高収益品目の栽培取組**に伴い安定的な営農を実現
- 畑かんを利用し、**計画的な作付計画及びほ場運営**を目指す

【取組地域の概要】

○位置 おおしま いせん
鹿児島県大島郡伊仙町

鹿児島県

きのこ あごん
木之香阿権地区



○主要作物

・さとうきび、ばれいしょ、飼料作物

○主な支援施策

・国営かんがい排水事業(H9～H29)
・県営畑地帯総合整備事業(H26～)

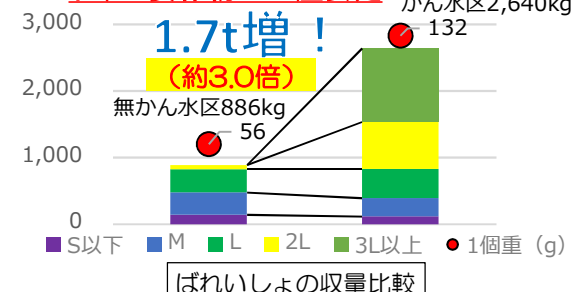
区画整理と畑かん施設の整備

2.5t収量UP!

(約1.3倍)



区画整理と畑かん施設の整備により、**作業効率化と干ばつ被害の軽減が図られ、主要作物の生産安定**



高収益作物の計画的な輪作が可能

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		えだまめ				ごま					ばれいしょ
		かん水									かん水



生産現場

研修会等による畑かん推進

- 畑かんマスター(15人)等による水利用営農の更なる啓発普及
- 将来の担い手(中学生・高校生)への出前授業の実施



地域の取組

畑かん散水による高収益作物栽培の推進



畑かんマスター〇氏

- 畑かんは単収をあげるためだけの手段ではない
- 計画的な作付やほ場の活用にも活かすことができる
- **雨が少ない年は、特に畑かんの効果が大きい**
- **水を使って、もっと儲かる農業が出来る**

多面的機能支払交付金

～交流人口の拡大により地域を活性化～

きいれなかみよう

【鹿児島県鹿児島市 喜入中名町】

基盤整備

水土里サークル

なかみよう

中名校区農地保全会

- 喜入中名校区は、鹿児島市の南部に位置し、中名上、中名中、中名下の3つの集落があり、面積は約10km²、人口は令和5年度4月時点で1,903人である。

【取組前】 ○ 少子化・高齢化が進行し、荒廃農地の発生が懸念

【取組後】 ○ 令和4年度に水土里サークル活動※を立ち上げ

○ 事務負担軽減のため、事務作業は地元企業に委託

○ 鹿児島市に拠点を置くプロサッカーチームの選手・スタッフと地域住民が交流しながら、荒廃農地を活用したさつまいも栽培を行うなど、鹿児島市街地近郊という地の利を生かした交流人口の拡大に努める

【地区概要】

- ・取組面積：92.3ha
(田 42.6ha)(畑 49.7ha)
- ・資源量：水路 56.0km、農道 48.0km
- ・主な構成員：農業者、地域コミュニティ協議会、小学校・PTA、芸能保存会、婦人会、子ども会、鹿児島ユナイテッドFC
- ・交付金：約538万円(R5)
＜内訳＞農地維持227万円
資源向上311万円(長寿命化含む)

【特徴的な活動】

※水土里サークル活動(鹿児島県における多面的機能支払交付金の愛称)

農業生産活動



プロサッカーチームと
さつまいもを植栽

- 地元で採れたさつまいもで「オリジナル焼酎」を作る事業を企画
- 長年荒廃農地となっていた畑を再生し、地元住民とプロサッカーチームが交流しながら、さつまいもを栽培

農用地の保全活動



水路周辺の保全管理状況

- 各集落ごとに草刈り活動を実施
- 令和5年度には新たな試みとして「山羊の放牧」を行った結果、保全管理が省力化



山羊の導入

荒廃農地の有効活用



赤そばの栽培

- 荒廃農地の有効活用として、そばづくりを実施
- 景観形成の取組として「赤そば」の植栽も実施



そば打ち体験会の開催

大学と連携した「ふるさと水土里の探検隊」の実施

- 県事業を活用し、地元大学の学生と集落点検を行い、学生から提案された活性化策を地域活動計画に反映



学生と集落点検



点検結果をもとに学生が活性化策を提案

